

## 1 月別気象概況（令和3（2021）年1月～12月）

福岡管区气象台

### （1）1月の気象概況

上旬：気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、期間の後半は雪が降り大雪となった 低温

1日は「大雪に関する福岡県気象情報」（終了情報）を発表

5日から10日にかけて「暴風雪と大雪に関する福岡県気象情報」、「大雪に関する福岡県気象情報」を発表

7日は八幡で「日最大風速・風向」の1月の極値を更新

8日は空港北町で「日最高気温の低い方から」の年の極値を更新

9日は添田で「日最低気温の低い方から」の年の極値を更新

- ・期間の前半に高気圧に覆われて晴れの日があったが、期間を通して気圧の谷や寒気の影響を受け曇りや雨、雪の日が多かった。7日から10日にかけては冬型の気圧配置が強まり今季一番の強い寒気が流れ込んだため雪を伴う荒れた天気となり、山地を中心に平地でも大雪となり各地で雪が積もった。県内各地の最深積雪は、福岡市中央区2cm、八幡3cm、飯塚24cmだった。
- ・気温は、期間の中頃は平年並の日もあったが期間を通して平年より低く、後半は平年よりかなり低かった。降水量は平年並か平年より少なく、平年より多い地点はなかった。日照時間は平年をやや下回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、0.7～4.0℃（平年差 -4.0～-2.8℃）と県内全地点で平年よりかなり低かった。旬降水量は、0.0～26.0mm（平年比 0～137%）と平年並か平年より少ない地点が多くかなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 66～97%とほとんどの地点で少なかった。

中旬：天気は数日の周期で変化した

11日から12日にかけて「大雪に関する福岡県気象情報」を発表

16日は、福岡市で黄砂を観測

- ・期間のはじめと中頃に雨の日があったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れの日が多く、天気は数日の周期で変化した。上旬からの降雪は12日ま

で続き、大雪に関する情報も12日まで継続して発表した。

- ・気温は、期間のはじめと終わりに平年より低い日もあったが期間を通して平年並かやや高かった。降水量は、平年より少なく平年よりかなり少ない地点も過半数の地点であった。日照時間は、全地点で平年を上回り南部北部ともに平年を大きく上回った地点もあった。
- ・県内各地の旬平均気温は、4.4～7.1℃（平年差 -0.1～1.2℃）と平年並の地点が多く県の北部を中心に平年より高い地点も複数あった。旬降水量は、2.0～12.5mm（平年比 7～41%）と県内の全地点で平年より少なく南部を中心に平年よりかなり少ない地点も多数あった。旬日照時間は、平年比 113～167%と県内の全地点で平年より多く半数以上の地点で平年よりかなり多かった。

**下旬：天気は数日の周期で変化したが前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、期間の終わりには雪の降った日もあった 高温**

**22日は博多で「日最高気温の高い方から」の1月の極値を更新**

**27日から28日にかけて「暴風雪に関する福岡県気象情報」を発表**

- ・天気は数日の周期で変化した。期間の中頃にかけて前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、23日と26日は県内の広範囲で10mmを超える日降水量を観測した。期間の終わりは冬型の気圧配置による寒気の影響で荒れた天気となり雪の降った日があった。
- ・気温は、期間の中頃にかけて平年を大きく上回ったが、期間の終わりは大きく下回る日があり寒暖の差が大きかった。降水量は、広範囲に雨の降った日が数日あり平年を上回った地点が多かった。日照時間は、期間の前半は少なかったが後半は多く、ほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、7.2～9.6℃（平年差 3.1～4.4℃）と県内の全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、18.5～48.5mm（平年比 88～170%）と平年より多い地点が多かった。旬日照時間は、平年比 110～132%とほとんどの地点で平年より多かった。

## (2) 2月の気象概況

上旬：天気は前線の影響で雨の降った日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった 多照

- ・期間の前半は高気圧と前線の影響を交互に受け天気は数日の周期で変化し雨の降った日もあったが、後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。
- ・気温は、期間の終わりに平年を下回る日があったが、その他の日は概ね上回り大きく上回る日も多かった。降水量は、広範囲に雨の降った日があり平年を上回り大きく上回った地点もあった。日照時間は、すべての地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、5.6～8.6℃（平年差 1.1～2.8℃）と県内の全地点で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、21.5～50.0mm（平年比 98～233%）と平年より多くかなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 141～180%と全ての地点で平年よりかなり多かった。

中旬：天気は数日の周期で変化して、雨や寒気の影響で雪の日もあった  
宗像で、17日に「日最大瞬間風速・風向」の2月の極値を更新  
15日から18日にかけて、「暴風に関する福岡県気象情報」「暴風と大雪に関する福岡県気象情報」「大雪に関する福岡県気象情報」を順次、切替発表  
20日に九州北部地方（山口県を含む）で、「春一番」が吹いた

- ・期間を通して天気は数日の周期で変化し晴れの日や雨の降った日もあった。また16日後半から18日にかけては強い寒気の流入によって各地で雪となった。積雪となったところもあり、飯塚で11cm、八女で2cmの積雪を観測した。
- ・気温は、期間の終わりに寒気の影響で平年を下回った日があったが、期間のはじめから中頃までは平年を上回り大きく上回る日も多かった。降水量は、期間の中頃に雨の日が続き県内の各地では平年並のところが多く平年を上回った地点もあった。日照時間は、南部ではほとんどの地点で平年並で、北部ではほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、7.5～9.7℃（平年差 1.5～2.2℃）と県内の全地点で平年より高かった。旬降水量は、19.5～62.0mm（平年比 69～185%）

と多くの地点で平年並で平年より多い地点も4箇所あった。旬日照時間は、平年比79～131%と少ない地点が1箇所あったがその他の地点で平年並か平年より多かった。

下旬：期間を通して、高気圧に覆われて晴れた日が多かった 高温 多照

21日は、行橋で「日最低気温の高い方から」の2月の極値を更新

22日は、空港北町で「日最低気温の高い方から」の2月の極値を更新

空港北町、行橋、前原で「日最高気温の高い方から」の2月の極値を更新

28日は、久留米で「日最高気温の高い方から」の2月の極値を更新

福岡、飯塚、宗像、八幡、空港北町、行橋、前原、博多、添田で「月平均気温の高い方から」の2月の極値を更新

福岡、宗像、八幡、行橋、前原、太宰府、添田、久留米で「月間日照時間の多い方から」の2月の極値を更新

- ・期間の後半に曇りや雨となった日があったが、期間を通して高気圧に覆われて晴れた日が多かった。25日夜から26日にかけては九州の南海上を東へ進んだ低気圧の影響で雨となり、各地で8.5～31.0mmの総降水量を観測した。
- ・気温は、期間の終わりに平年並となった日があったが、その他の日は平年を上回り大きく上回る日が多かった。降水量は、県内の各地で平年を下回った。日照時間は、県内のほとんどの地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、10.0～12.8℃（平年差2.3～4.7℃）と県内の全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、8.5～31.0mm（平年比34～77%）と平年より少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比124～167%とかなり多かった。

### (3) 3月の気象概況

上旬：期間の終わりは晴れたが、中頃にかけて前線や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった 高温

2日は、朝倉で「日最大風速・風向」の3月の極値を更新

- ・期間の前半は高気圧と前線の影響を交互に受け天気は数日の周期で変化し雨の降った日もあったが、後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。
- ・気温は、期間の終わりに平年を下回る日があったが、その他の日は概ね上回り大きく上回る日も多かった。降水量は、広範囲に雨の降った日があり平年を上回り大きく上回った地点もあった。日照時間は、すべての地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、5.6～8.6℃（平年差1.1～2.8℃）と県内の全地点で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、21.5～50.0mm（平年比98～233%）と平年より多くかなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比141～180%と全ての地点で平年よりかなり多かった。

中旬：天気は数日の周期で変化 高温

12日は、福岡で「そめいよしの」の開花を観測

- ・期間を通して、天気は数日の周期で変化した。
- ・福岡では12日に「そめいよしの」の開花を観測した。これは平年より11日早く、昨年より9日早く観測し、1953(昭和28)年の観測開始以来最も早かった。また、17日と18日は福岡で黄砂を観測した。
- ・気温は、期間を通して平年を上回る日が多く大きく上回る日もあった。降水量は、平年を下回った地点が多くその他は平年並だった。日照時間は、県の北部では平年並の地点が多く南部では平年並か平年より多い地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、11.8～14.1℃（平年差3.1～4.2℃）と県内の全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、17.0～39.5mm（平年比36～104%）と平年並か平年より少なかった。旬日照時間は、平年比91～121%と平年並か平年より多い地点が多かった。

下旬：天気は数日の周期で変化 高温 多照

22日は、福岡で「そめいよしの」の満開を観測

28日から30日にかけて「黄砂に関する福岡県気象情報」を発表

26日は、久留米と黒木で「日最高気温の高い方から」の3月の極値を更新

全地点で「月平均気温の高い方から」の3月の極値を更新

- ・期間を通して、天気は数日の周期で変化した。
- ・福岡では22日に「そめいよしの」の満開を観測した。これは平年より10日早く、昨年より11日早く観測し、1953(昭和28)年の観測開始以来、平成25年(2013年)に並び最も早かった。また、29日から31日にかけて福岡で黄砂を観測した。
- ・気温は、期間のはじめに平年を下回る日があったが、その後は平年を上回り大きく上回る日も多かった。降水量は、平年を下回った地点が多かった。日照時間は、県内の全地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、12.5～14.6℃(平年差2.4～3.4℃)と全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、23.0～57.5mm(平年比45～110%)と平年並か平年より少なかった。旬日照時間は、平年比142～165%と全地点で平年よりかなり多かった。

## (4) 4月の気象概況

### 上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった 高温 多照

- ・期間の前半に気圧の谷や前線、低気圧の影響で曇りや雨の日もあったが、期間を通して高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・気温は、期間の前半は平年を大きく上回り、後半は概ね平年並で下回る日もあった。降水量は平年を大きく下回る地点が多く、日照時間は平年を大きく上回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、13.7～16.1℃（平年差 1.7～2.8℃）と平年よりかなり高い地点が多かった。旬降水量は、2.0～29.5mm（平年比 4～51%）と平年より少なく、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 120～154%とかなり多い地点が多かった。

### 中旬：期間の中頃は低気圧や前線、気圧の谷の影響により曇りや雨、その他は高気圧に覆われ概ね晴れ

- ・期間の中頃は低気圧や前線、気圧の谷の影響で曇りや雨となったが、その他は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。気温は、期間の初めは平年を上回る日があったが中頃から終わりにかけて平年並か平年を下回り、旬を通しては平年並となった。降水量は平年を下回る地点が多く、日照時間は平年並か平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、15.5～12.6℃（平年差 0.4～-1.1℃）と概ね各地とも平年並みとなった。旬降水量は、34.0～10.5mm（平年比 27～75%）で概ね各地とも平年より少なかった。旬日照時間は、県内各地で平年比 94～121%と平年並か平年より多くなった。

### 下旬：天気は短い周期で変化 期間の終わりは前線や低気圧、上空の寒気の影響で雨や雷雨

29日から30日にかけて、「落雷と突風及び降ひょうに関する福岡県気象情報」を発表

30日は、「福岡県竜巻注意情報」を発表

22日は、博多、太宰府、久留米で「日最高気温の高い方から」の4月の

## 極値を更新

### 早良脇山で「月降水量の少ない方から」の4月の極値を更新

- ・高気圧と気圧の谷や低気圧が交互に通り天気は短い周期で変化した。期間の終わりは、前線や低気圧、上空の強い寒気の影響で荒れた天気となり雨で雷を伴った所があった。
- ・気温は、期間の前半は平年を大きく上回り、後半は平年並で平年を下回る日もあった。降水量は期間の終わりに各地でまとまった雨量となり、特に雨量が多かった筑後地方では約50～70mmの日降水量を観測した。日照時間は平年並か平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、16.3～18.8℃（平年差 1.0～2.3℃）と平年より高く、かなり高い地点も多かった。旬降水量は、16.5～97.5mm（平年比 59～191%）で平年並か平年より多く、かなり多い地点もあった。旬日照時間は、県内各地で平年比 94～116%と平年並か平年より多かった。



## (5) 5月の気象概況

上旬：天気は短い周期で変化

1日から2日にかけて「落雷と突風及び降ひょうに関する福岡県気象情報」、  
「落雷と降ひょうに関する福岡県気象情報」を発表

7日から8日にかけて「黄砂に関する福岡県気象情報」を発表

1日は、朝倉と黒木で「日最大風速・風向」の、朝倉で「日最大瞬間風速・  
風向」の5月の極値を更新

2日は、空港北町で「日最高気温の低い方から」の5月の極値を更新

博多で、4日は「日最大風速・風向」、5日は「日最大瞬間風速・風向」  
の5月の極値を更新

- ・高気圧と気圧の谷や前線が交互に通り天気は短い周期で変化した。
- ・気温は、期間のはじめは平年を大きく下回ったが、その後は平年並か平年を上回る日が多かった。降水量は平年を下回り大きく下回った所があり、日照時間は平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、16.1～18.6℃（平年差 -1.5～0.1℃）と平年並か平年より低かった。旬降水量は、8.0～66.5mm（平年比 17～95%）で平年並か平年より少なかった。旬日照時間は、平年比 109～134%とほとんどの地点で平年より多かった。

中旬：期間を通して、前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨 高温 多雨 寡照

11日頃に九州北部地方は梅雨入り（平年比 24日早い・昨年比 31日早い）

15日から17日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」を発表

19日から20日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」  
を発表

20日は、「福岡県竜巻注意情報」を発表

20日は、東谷で「日降水量」の5月の極値を更新

東谷、博多、早良脇山で「日最大1時間降水量」の5月の極値を更新

黒木と大牟田で「日最大瞬間風速・風向」の5月の極値を更新

- ・期間を通して、前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。特に20日は、梅雨前線や低気圧の影響で大雨となり、各地で100mm

を超える日降水量を観測した。

- ・気温は期間のはじめは平年を下回ったが、その後は上回る日が多く大きく上回った日もあった。降水量は期間を通して広範囲に雨が降り平年を大きく上回った。日照時間は各地で平年を大きく下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、19.4～21.8℃（平年差 0.9～2.5℃）と平年よりかなり高かった。旬降水量は、79.0～275.5mm（平年比 161～391%）で多くの地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比 22～31%と全地点で平年よりかなり少なかった。

下旬：期間の前半は曇りで雨の降った日があったが、後半は晴れた日が多かった

21日明け方にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を  
発表

24日、「黄砂に関する福岡県気象情報」を発表

25日から27日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷  
及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

28日から29日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間の中頃までは梅雨前線や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は、高気圧に覆われ晴れた。
- ・気温は期間の中頃までは平年並か平年を下回ったが、その後は上回る日が多かった。降水量は県内各地で平年並か多く、日照時間は平年並となった。
- ・県内各地の旬平均気温は、18.8～20.9℃（平年差 -1.0～0.2℃）と平年並か平年より低く、旬降水量は、25.0～105.0mm（平年比 72～281%）と平年並か平年より多かった。旬日照時間は、平年比 89～111%と平年並だった。

## (6) 6月の気象概況

**上旬：期間の前半は曇りで雨の降った日があったが、後半は晴れた日が多かった**

- ・期間の中頃までは梅雨前線や気圧の谷、湿った空気の影響で曇りや雨となったが、後半は、高気圧に覆われ晴れた。3日から4日にかけては前線や湿った空気の影響で各地ともまとまった雨量となり、多い所では日降水量の2日間の合計が100mmを超えた地点があった。
- ・気温は期間の中頃は平年並か平年を下回ったが、その他の期間は平年を上回る日が多かった。降水量は県内各地で平年より多く、日照時間は平年並か平年より多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、21.7～24.3℃（平年差 0.7～1.6℃）と平年より高いか平年よりかなり高く、旬降水量は、30.0～130.5mm（平年比 130～289%）と平年より多かった。旬日照時間は、平年比 109～124%と平年並だった。

**中旬：梅雨前線や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった**

- ・高気圧に覆われて晴れた日もあったが、梅雨前線や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。
- ・気温は期間の前半は平年を大きく上回ったが、後半は平年並で平年を下回る日があった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間も平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、22.5～24.6℃（平年差 0.4～1.0℃）と平年より高い地点が多く、旬降水量は、48.5～94.0mm（平年比 43～91%）と平年並で平年より少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 48～86%と平年並か平年より少なく、かなり少ない地点もあった。

**下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった 少雨 多照**

- ・気圧の谷や上空の寒気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

- ・気温は期間のはじめに平年を下回った日もあったが、平年を上回った日が多かった。降水量は多くの地点で旬降水量が 1mm 以下で平年をかなり下回り、日照時間は平年をかなり上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.5～26.0℃（平年差 0.0～1.7℃）と平年並か平年より高かった。旬降水量は、0.0～32.5mm（平年比 0～17%）と全地点で平年よりかなり少なく、旬日照時間は、平年比 242～307%と全地点で平年よりかなり多かった。

## (7) 7月の気象概況

上旬：梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった

2日と7日から8日にかけて「福岡県熱中症警戒アラート」を発表

8日から10日にかけて「落雷と突風に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

9日は「福岡県竜巻注意情報」を発表

- ・期間を通して、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。梅雨前線は期間のはじめに九州南部から対馬海峡まで北上し停滞、中頃からは朝鮮半島付近に停滞した。その後、期間の終わりには対馬海峡まで南下し活動が活発となったため各地で雨となり、雷を伴い激しく降った所があった。
- ・気温は期間の終わりは平年を下回った日もあったが、平年を上回った日が多かった。降水量は期間の終わりにまとまった雨量となったが、その他の日は雨量が少なく平年を下回った所が多かった。日照時間は平年を下回り大きく下回った所もあった。
- ・県内各地の旬平均気温は、25.9～28.4℃（平年差 1.0～2.3℃）と平年より高く、かなり高い地点もあった。旬降水量は、37.5～117.0mm（平年比 22～59%）と平年並か平年より少なく、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 26～58%と平年より少なく、かなり少ない地点もあった。

中旬：高気圧に覆われたが上空の寒気や湿った空気の影響で曇りや雨の日があった。

12日にかけて「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

12日から16日にかけて「落雷と突風及び降ひょうに関する福岡県気象情報」を発表

13日頃に九州北部地方は梅雨明け（平年より6日早い・昨年より17日早い）

14日は「福岡県土砂災害警戒情報」を発表

14日、15日は「福岡県竜巻注意情報」を発表

14日、15日、19日、20日は「福岡県熱中症警戒アラート」を発表

- ・期間を通して、高気圧に覆われたが上空の寒気や湿った空気の影響で曇り

や雷を伴った雨の日があった。梅雨前線は期間のはじめ朝鮮半島付近に停滞したが、13日頃には弱まり梅雨明けとなった。

- ・気温は、前半は平年を上回る地点が多かったが、旬の平均では平年並となった。降水量は、ほとんどの地点で平年を下回り、日照時間は、ほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、26.1～28.7℃（平年差 -0.2～1.5℃）と平年並だった、旬降水量は、0.0～129.0mm（平年比 0～113%）と平年より少なく、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 111～157%と平年より多かった。

**下旬：高気圧に覆われたが上空の寒気や湿った空気の影響で曇りの日があった。  
21日から31日にかけて「福岡県熱中症警戒アラート」を発表**

- ・期間を通して、高気圧に覆われたが気圧の谷や湿った空気、強い日射の影響で曇りとなった日があった。また、多くの地点で猛暑日を観測した日があった。
- ・気温は、期間を通して平年を上回る日が多く期間のはじめに大きく上回る地点もあった。降水量は平年より大きく下回った地点が多かった。日照時間は平年より大きく上回った地点もあり、ほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、26.8～29.7℃（平年差 -0.1～1.2℃）と多くの地点で平年並だった。旬降水量は、0.0～29.5mm（平年比 0～32%）と平年よりかなり少なかった。旬日照時間は、平年比 111～148%と平年より多かった。

## (8) 8月の気象概況

上旬：期間のはじめは湿った空気と強い日射の影響で雷雨、終わりは台風第9号の影響で大雨 多雨

1日から3日にかけてと10日は「大雨に関する福岡県気象情報」を公表

1日から3日にかけて「福岡県土砂災害警戒情報」を公表

1日は「福岡県竜巻注意情報」を公表

2日から7日にかけてと9日から10日にかけて「福岡県熱中症警戒アラート」を公表

7日から9日にかけて「令和3年台風第9号に関する福岡県気象情報」を公表

1日は八幡で、8日は宗像で「日最大1時間降水量」の8月の極値を更新

- ・期間のはじめは高気圧に覆われたが、湿った空気や強い日射の影響により大気の状態が不安定となり曇りや雨で雷を伴う所があった。中頃は高気圧に覆われて晴れとなり多くの地点で猛暑日となった日があった。期間の終わりには台風第9号が接近、8日20時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸し、その後北東に進み9日9時には中国地方で温帯低気圧に変わった。8日から9日にかけて大雨となり県内各地の総雨量は48.5～221.0mmと200mmを超えた地点があった。
- ・気温は、期間の中頃までは平年を上回る日が多かったが終わりは平年を下回った。降水量は平年を大きく上回った地点が多かった。日照時間は中頃は平年を上回ったが、その他の日は平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、26.7～29.3℃（平年差 -0.6～0.3℃）と平年並か平年より低かった。旬降水量は、87.0～287.5mm（平年比 217～808%）とほとんどの地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比 77～103%と平年より少ない地点が多かった。

中旬：期間を通して秋雨前線や低気圧の影響で曇りや雨となり、記録的な大雨となった日があった 低温 多雨 寡照

期間を通して「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を公表

12日と14日は「顕著な大雨に関する福岡県気象情報」を公表

12日から18日にかけて「福岡県土砂災害警戒情報」を公表

14日から15日にかけて、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている

る場合に発表する「大雨特別警報」を発表

14日は久留米で「日最大1時間降水量」の8月の極値を更新

12日から14日にかけて、ほとんどの地点で「日降水量」の8月の極値を更新

- ・期間を通して九州付近に停滞した秋雨前線や低気圧の影響で曇りや雨となり、大雨となった日があった。特に12日から14日にかけては、県内各地で激しい雨や非常に激しい雨が断続的に降り続いたため、3日間の合計雨量が多い所では700mmを超える記録的な大雨となった。
- ・気温は、期間を通して全地点で平年を大きく下回った。降水量は全地点で平年を大きく上回り、日照時間は全地点で平年を大きく下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.4～24.6℃（平年差 -4.3～-3.2℃）と平年よりかなり低かった。旬降水量は、255.0～1052.5mm（平年比 619～1426%）と平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比 17～26%と平年よりかなり少なかった。

下旬：期間の中頃までは前線や湿った空気の影響で曇りや雨、後半は晴れの天気となった

21日から24日にかけて「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

29日から30日にかけて「福岡県熱中症警戒アラート」を発表

飯塚で、「月降水量の多い方から」の年及び8月の極値更新

福岡で、「月降水量の多い方から」の8月の極値更新

- ・期間の中頃までは朝鮮半島付近の前線、東シナ海を北上した台風第12号や高気圧周辺部からの湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となったところがあった。
- ・気温は、期間のはじめは平年を下回ったが、その後は平年を上回り旬の平均では県内殆どの地点で平年を上回った。降水量は平年並みのところが多かった。日照時間は平年並か平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、26.8～28.6℃（平年差 0.2～1.1℃）と平年より高かった。旬降水量は、11.5～174.5mm（平年比 15～176%）とばらつきがあったが平年並のところが多かった。旬日照時間は、平年比 74～102%と平年並か平年より少なかった。



## (9) 9月の気象概況

上旬：期間を通して前線や気圧の谷、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった

1日から3日にかけて「落雷と突風に関する福岡県気象情報」「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

3日は「福岡県土砂災害警戒情報」を発表

3日は「福岡県竜巻注意情報」を発表

2日は黒木で、3日は小呂島、博多、早良脇山で「日最大1時間降水量」の9月の極値を更新

2日は黒木で、3日は博多、添田、早良脇山で「日最大10分間降水量」の9月の極値を更新、早良脇山では年の極値も更新

- ・1日から4日にかけてと7日8日は朝鮮半島付近の前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となったところがあった。
- ・気温は、期間の初めに平年を上回った日があったが、その後はほぼ平年並となり旬の平均でも平年並となった。降水量は平年を上回り、かなり上回ったところもあった。日照時間は平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、24.7～26.6℃（平年差 -0.1～0.5℃）と平年並だった。旬降水量は、25.0～234.0mm（平年比 34～318%）と平年より多くかなり多いところもあった。旬日照時間は、平年比 56～87%と平年より少なかった。

中旬：期間の中頃にかけて前線や気圧の谷、台風第14号の影響で曇りや雨、終わりは高気圧に覆われて晴れ

台風第14号は17日19時前に福岡県福津市付近に上陸

15日から17日にかけて「令和3年台風第14号に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間のはじめに台風第14号が東シナ海を北上し、期間の中頃にかけて停滞した。台風から暖かく湿った空気が流れ込み九州付近に前線が停滞したため曇りや雨の日が多かった。台風は17日には北東に進み対馬海峡付近で東寄りに進路を変え、17日19時前に福岡県福津市付近に上陸、その後瀬戸内海に抜けた。このため17日は強風が吹き大荒れの天気となった。期間の

終わりは大陸や日本海に中心を持つ高気圧に覆われて晴天となった。

- ・気温は、期間の中頃に平年を下回った日があったが、その他の日は平年を上回る日が多かった。降水量は県の北部を中心に平年を上回った地点が多かった。日照時間はすべての地点で平年を下回りかなり下回った地点があった。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.1～25.3℃（平年差 -0.2～0.7℃）と平年並だった。旬降水量は、28.0～120.5mm（平年比 55～182%）と平年並の地点が多かったが平年より多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 40～80%と平年より少なくかなり少ない地点もあった。

#### **下旬：期間を通して高気圧に覆われて晴れた日が多く、真夏日となった日が多かった 高温**

- ・前線や気圧の谷の通過で曇りの日もあったが、期間を通して高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・気温は、期間を通して平年を上回り、多くの地点で日最高気温が30℃以上の真夏日となった日が多かった。降水量はすべての地点で平年を下回り、大きく下回った地点もあった。日照時間はすべての地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.1～25.8℃（平年差 1.7～2.9℃）とすべての地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、0.0～23.5mm（平年比 0～42%）と平年より少なく、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 106～138%と平年より多かった。

## (10) 10月の気象概況

上旬：期間を通して高気圧に覆われて晴れた日が多く、真夏日となった日が多かった 高温 少雨 多照  
3日は博多、太宰府、10日は宗像で「日最高気温の高い方から」の10月の極値更新

- ・前線や気圧の谷の通過で曇りの日もあったが、期間を通して高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・気温は、期間を通して平年をかなり上回り、多くの地点で日最高気温が30℃以上の真夏日となった日が多かった。降水量はすべての地点で平年を大きく下回った。日照時間はすべての地点で平年をかなり上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、21.9～25.2℃（平年差 2.4～3.9℃）と平年よりかなり高かった。旬降水量は、0.0～ 3.0mm（平年比 0～9%）と平年よりかなり少なかった。旬日照時間は、平年比 157～184%と平年よりかなり多かった。

中旬：天気は周期変化 期間の前半は真夏日の所があり、後半は大陸の高気圧に覆われ寒気の影響を受けた  
18日から19日にかけて、「落雷と突風及び降ひょうに関する福岡県気象情報」を発表

- ・高気圧と気圧の谷や前線が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。16日は寒冷前線が南下したため各地で雨となった。その後、大陸の高気圧に覆われたが寒気の影響をうけ曇りや雨の日が多かった。
- ・気温は、多くの地点で平年をかなり上回り、期間の初めに日最高気温が30℃以上の真夏日となった日もあった。降水量は筑後地方を中心に平年を下回った所があったが、多くの地点では平年並となった。日照時間はほとんどの地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、18.7～21.4℃（平年差 1.1～2.1℃）と平年より高かった。旬降水量は、0.0～ 69.0mm（平年比 0～145%）で平年並みの所が多かった。旬日照時間は、平年比 71～110%と平年より少ない所が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間のはじめと終わりに曇りや雨の日があった

空港北町、英彦山、久留米、大牟田で「月降水量の少ない方から」の10月の極値を更新

- ・期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間のはじめと終わりは気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日があった。22日は雨で雷雨となった所があり、県内各地で0.0～24.0mmの日降水量を観測した。
- ・気温は、期間の前半は平年を下回ったが、後半は平年を上回った日もあった。降水量は全地点で平年を下回り、日照時間は全地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、14.0～17.0℃（平年差 -1.5～-0.5℃）と平年より低く、かなり低い地点もあった。旬降水量は、1.0～27.5mm（平年比 3～70%）で平年より少ない地点が多く、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 116～131%と平年より多かった。

## (11) 11月の気象概況

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間の終わりは前線や湿った空気、寒気の影響で曇りや雨となった

8日は、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

9日から10日にかけて、「落雷と降ひょうに関する福岡県気象情報」「落雷と突風及び降ひょうに関する福岡県気象情報」を順次、切替発表

8日に大牟田で「日最大瞬間風速・風向」の11月の極値を更新

- ・期間の中頃にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間の終わりは前線や湿った空気、寒気の影響で曇りや雨となった。10日は上空の強い寒気の影響で雷雨となった所があり、福岡では氷あられを観測した。
- ・気温は、期間の中頃までは平年を上回った日が多かったが、終わりは平年を大きく下回った。降水量は福岡、北九州地方では平年を上回った地点が多かったが、筑豊、筑後地方では平年を下回った。日照時間は全地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、13.2～16.1℃（平年差 -1.2～ 0.1℃）と平年並で、平年より低い地点もあった。旬降水量は、11.5～ 64.5mm（平年比 40～ 216%）で平年並の地点が多かったが、福岡、北九州地方で平年より多く、筑後地方では平年より少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比 75～ 88%と平年より少なかった。

中旬：期間のはじめは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨となったが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多かった 多照

11日から12日にかけて、「落雷と突風及び降ひょうに関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間のはじめは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨となった。11日から12日にかけては上空の強い寒気の影響で大気の状態が不安定となり雷雨となった所があった。期間の中頃から終わりは、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・気温は、期間のはじめは平年を下回ったが、その後は平年並か平年を上回る所が多かった。降水量は各地とも平年を下回り、日照時間は平年を大きく上回った。

- ・県内各地の旬平均気温は、10.8～13.8℃（平年差 -1.1～ -0.2℃）と平年並だった。旬降水量は、1.5～ 29.0mm（平年比 8～71%）で平年より少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比 128～148%と平年よりかなり多かった。

下旬：期間の前半と 30 日は寒冷前線の通過や寒気の影響で曇りや雨、後半は晴れの日が多かった

29 日から 30 日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表  
30 日は、大牟田で「日最大風速・風向」、「日最大瞬間風速・風向」の 11 月の極値を更新

- ・期間のはじめは 22 日にかけて寒冷前線が通過したため各地で雨となり、22 日は 14.0～38.5mm の日降水量を観測した。その後冬型の気圧配置となり寒気の影響を受けた。期間の後半は高気圧に覆われて晴れの天気が続いたが、30 日は寒冷前線の通過により雨や雷雨となり、各地で 15.0～39.5mm の日降水量を観測した。
- ・気温は、期間を通して平年を下回った日が多かった。降水量は各地とも平年を大きく上回った。日照時間は平年を上回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、8.9～12.3℃（平年差 -0.8～ 0.1℃）と平年並か平年より低かった。旬降水量は、29.0～ 86.5mm（平年比 205～300%）で平年より多く、かなり多い地点が多かった。旬日照時間は、平年比 96～108%と平年並であった。

## (12) 12月の気象概況

上旬：期間のはじめは寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨、その後は晴れの日が多く、寒暖の差が大きかった

9日は福岡で初霜（平年より4日早い、昨年より14日早い）を観測

- ・期間のはじめは寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨となった。その後、天気は短い周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・気温は、期間の前半は平年を下回り、後半は平年を上回り、寒暖の差が大きかった。降水量は各地で平年を大きく下回り、日照時間は各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、7.1～10.3℃（平年差 -0.8～0.2℃）と平年並で平年より低い地点もあった。旬降水量は、0.5～18.5mm（平年比 2～68%）で平年より少なく、かなり少ない地点も多かった。旬日照時間は、平年比 104～132%と平年より多かった。

中旬：期間のはじめと終わりは低気圧、寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった 寒暖の差が大きかった

16日は「雪に関する福岡県気象情報」を発表

18から19日にかけて「大雪に関する福岡県気象情報」を発表

18日は脊振山の初冠雪を観測（平年より8日遅い、昨年より13日早い）を観測

- ・期間のはじめは気圧の谷や湿った空気の影響で、16日は九州南部を低気圧が通過、その後は寒気が入り冬型の気圧配置となり、期間を通して曇りや雨の日が多かった。
- ・気温は、期間の前半は平年を上回り、後半は平年を下回り、寒暖の差が大きかった。降水量、日照時間は各地とも平年並だった。
- ・県内各地の旬平均気温は、6.4～9.5℃（平年差 0.5～1.2℃）と平年より高く平年並の地点もあった。旬降水量は、14.0～32.5mm（平年比 73～173%）と平年並で平年より多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 74～112%と平年並だった。

下旬：期間の前半は高気圧に覆われ晴れの日が多かった、後半は冬型の気圧配置や寒気、気圧の谷の影響で曇りや雨か雪 寒暖の差が大きかった  
24 から 27 日にかけて「大雪に関する福岡県気象情報」を発表  
26 日に福岡で初氷（平年より 9 日遅い、昨年より 3 日遅い）を観測  
26 日に空港北町で「日最低気温の低い方から」「日最高気温の低い方から」の 12 月の極値を更新  
空港北町で「月降水量の少ない方から」の 12 月の極値を更新

- ・期間の前半は高気圧に覆われた影響で晴れの日が多かった、後半は強い冬型の気圧配置となり、寒気や湿った空気の影響で雪やみぞれ、あられが降った。
- ・気温は、期間の前半は平年を上回り、後半は平年を下回り、寒暖の差が大きかった。降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、4.5～7.6℃（平年差 -0.8～ -0.2℃）と平年並だった。旬降水量は、0.5～ 6.0mm（平年比 2～ 20）と平年より少なかった。旬日照時間は、平年比 110～127%と平年より多かった。



## (13) 月別値の階級区分

### 福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月日照時間
令和3年 1月	平年並	少ない	多い
令和3年 2月	かなり高い	平年並	かなり多い
令和3年 3月	かなり高い	平年並	かなり多い
令和3年 4月	かなり高い	少ない	多い
令和3年 5月	平年並	平年並	少ない
令和3年 6月	かなり高い	少ない	多い
令和3年 7月	高い	かなり少ない	多い
令和3年 8月	低い	かなり多い	少ない
令和3年 9月	高い	多い	少ない
令和3年 10月	かなり高い	少ない	多い
令和3年 11月	平年並	多い	平年並
令和3年 12月	平年並	少ない	平年並

### 階級区分について

気象要素の分布を値の大(高)、小(低)によって、「高い(多い)」、「平年並」、「低い(少ない)」の3階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」を補足的に用いています。3階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」(1:1:1)の等確率で、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」の出現率は10%です。